平成26年度 文化芸術推進課の主な動き

教育委員会 文化芸術推進課

7

№ 1 長野市芸術文化振興基金助成金について

長野市芸術館の建設を契機に、従前の制度の課題解消と「長野らしい」文化芸術の創造を目指して、平成24年度から長野市芸術文化振興基金運営委員会において制度の見直しを検討(以降、基金運営委員会で8回にわたり論議)





新助成金制度の趣旨

- 日常的な活動を大切にしつつ、創意工夫をこらし 個性を持った地域文化の新しい芽を育む
- ◆ 若い世代を始めとするあらゆる世代の意欲的挑戦的な活動の後押しをする

新助成金制度の内容

部門別の募集

HLI 1/11 A 22.2/		
部門名	助成対象条件	助成 上限額
①明日の担い手部門	・創造的、先駆的な試みをする事業 ・他団体と共同で実施する新規事業 ともに継続性・発展性が見込まれる こと	30 万円
②ステップ アップ部門	継続的に実施している事業のうち、 内容や規模が例年を超える意欲的、 挑戦的な事業新規に実施する事業	10万円
③地域交流· 発信部門	・地域が主体となって行う文化芸術 祭	3 万円

主な変更点

4

新助成金制度			
名称:長野市芸術文化振興基金助成金			
基金運営委員会が応募事業について審 査を行い、その結果を受けて市が助成 金を支出			
①30万円 ②10万円 ③3万円 3部門に分けて募集			
①最長3年間 ②1回助成を受けた 団体はその翌年、 翌々年は申請不可 ③旧制度と同じ			
前年度1月に募集開始、2~3月に 審査及び助成の内定、4月1日以降に 内定団体から交付申請を受け付け、 交付決定			

Nº2 野外彫刻ながのミュージアム事業について(1)

〇利活用方法の検討

設置場所や鑑賞のしやすさ等についての意見に鑑み、 集積の可能性やその他の利活用方法を検討するため、関 係課による「野外彫刻利活用検討委員会」を設置

- 〇平成26年度(第41回長野市野外彫刻賞)新規設置
 - (1) 権堂B-1地区第一種市街地再開発事業公共広場 【長野市大字鶴賀権堂町】

大成 浩(おおなり ひろし) 東京都在住

(2) 長野大通り西側歩道植栽地(鍋屋田小学校東) 【長野市大字鶴賀上千歳町】

キム キョンミン(金 景睯) 東京都在住

Nº 2 野外彫刻ながのミュージアム事業について(2)

〇野外彫刻めぐり、写真コンテストの開催



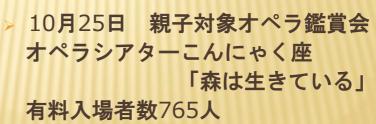
8

№3 子どものための文化芸術プログラム

▶ 10月1日 小学6年生招待ミュージカル鑑賞会 (劇団四季と共催)

劇団四季「魔法をすてたマジョリン」 45校 3,234人が鑑賞(2公演)





12月27日 ジュニアコーラスワークショップ開催

№ 4 東京芸術大学との連携事業

• 「おとあそび親子コンサート in 長野 '14秋」の開催 小学3年生以下の子どもの家族対象 11月1日 246組845人の応募





- 小中学生のためのワークショップ 「クリスマスソングを 楽しもう!」の開催(12月14日)
- 長野文化芸術企画塾の開催

当日は96組309人の来場

Nº5 サイトウ・キネン・フェスティバル 松本 スクリーンコンサートの開催

- ◆本市の文化芸術振興を図り、本市と松本市の連携 を深めるため、9月2日 若里市民文化ホールで 開催
- ◆ 応募総数792組1,512人 当日来場者550人





10

№6 長野市芸術館について(主な動き)

● 4月2日 長野信用金庫から大ホール緞帳

寄贈申し出

• 7月 工期延長表明

(平成27年3月末⇒平成27年11月末)

7月~ 音楽キャラバン開始

(市内34箇所を予定) (長野市文化芸術振興財団主催)

• 10月12日 久石譲×新日本フィルハーモニー

交響楽団特別公演 (長野市文化芸術振興財団主催)

11月1日 ロゴマーク公募開始

(12月24日締切)

* 11月7日 ホームページ開設 (長野市文化芸術振興財団)

• 12月議会 指定管理者指定議案提出

Nº 7 長野市芸術館大ホール緞帳デザイン



Sustainable Blue-Green

